

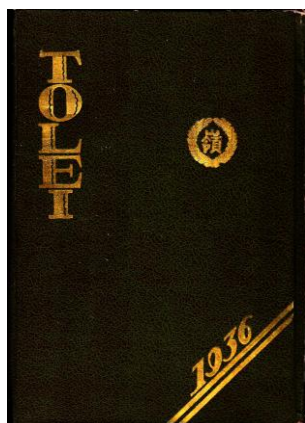
藤嶺藤沢高校だより 2月号

藤嶺学園藤沢高等学校 〒251-0001 藤沢市西富 1-7-1
TEL 0466-23-3150 <https://www.tohrei-fujisawa.ed.jp/>
(文責：高校教頭 香西 義之)

2026年2月16日(月)

90年の時を超え、母校へ戻る卒業アルバム

～カリフォルニアから届く、日系人収容所を生き抜いた先人の声～



1936年卒業アルバム表紙

来たる3月10日(火)、カリフォルニア州から、日系米国人のパティ・ヒラハラ氏と、第二次世界大戦中の強制収容体験を持つノリオ・ウエマツ氏(95歳)が来校されることになりました。

今回の企画は、朝日新聞社・経済部編集委員の五十嵐大介氏による橋渡しによって実現しました。五十嵐氏は昨春まで米サンフランシスコに駐在し、日系米国人の歴史を精力的に取材。その過程で、日系人収容所に連行された後、米軍人として朝鮮戦争に従軍したノリオ・ウエマツ氏の歩みを広く紹介してきました。

この取材活動を通じて結ばれた縁が、一冊の古い卒業アルバムを再び藤嶺藤沢の地へと導くことになったのです。

今回の交流の鍵となるのは、パティさんの親族である故・江藤忠次氏(昭和11年卒)の遺品から見つかった本校の「1936年卒業アルバム」です。保存状態は極めて良く、90年近く前の藤嶺学園の息遣いを今に伝える貴重な史料です。

当時の名簿を紐解くと、江藤氏の住所欄には「アメリカ在住」との記述があり、若くして海を渡った同窓生の足跡が確認されました。また、当時の学校長は現・林校長の祖父にあたるなど、この再会には不思議な縁を感じずにはられません。パティ氏の「母校にこの記憶を戻したい」という熱意を五十嵐記者が本校へ繋ぎ、今回の里帰りが実現しました。

寄贈に合わせてご来校いただくノリオ・ウエマツ氏は、激動の20世紀を体現する方です。戦時中、米国政府によって約12万人もの日系人が収容所へ連行された歴史は、現代の日本で十分に知られているとは言えません。

現在95歳のノリオさんは「今回が最後の来日になるかもしれない」との思いで、藤嶺の生徒たちに直接語りかけることを希望されました。世界中で「戦争と平和」が再び問われている今、第一線の記者が注目し続けた「日系米国人の苦難と誇りの歴史」に触れることは、生徒にとって生涯忘れることのできない学びとなるはずです。



江藤忠次さん

【当日の予定】

- 日時：3月10日(火) 9:30開始
- 対象：高校1年生・2年生
- 内容：卒業アルバム寄贈式、およびノリオ・ウエマツ氏による特別講演

本来、当日は自宅学習の日でしたが、学校長はこのまたとない機会を重視し、高1・高2の登校日として設定いたしました。

高 1 学林 ～納経と涅槃図～

2月13日（金）、高校1年生による「学林」が実施されました。

今回の「学林」では、まず前回の「学林」で一筆一筆心を込めて書き進めてきた「写経」を総本山遊行寺へお納めする「納経（のうきょう）」が行われました。なお、近年人気を集めている「御朱印」は、もともと写経を寺院に納めた証として授与されたものが始まりとされています。今回の学林で生徒たちが行った納経は、まさにその本来の姿を体験する貴重な機会でもありました。



遊行寺の梅谷先生のご指導のもと、生徒たちは本堂に上がり、阿弥陀如来像の御前で「般若心経」を唱和しました。慣れない読経ではありましたが、生徒たちは心を込めて読み上げました。前回の学林から継続して取り組み、自ら書き上げた写経を納めることで、己の心と向き合う貴重な時間となりました。

また、2月15日の「釈尊涅槃会（しゃくそんねはんえ）」を目前に控え、本堂には遊行寺が誇る巨大な「涅槃図」が掲

げられていました。

遊行寺宝物館館長・遠山先生より、この図に関する詳しい解説をいただきました。お釈迦様が沙羅双樹の間に横たわり入滅される様子を描いたこの図には、悲しみに暮れる弟子たちだけでなく、数多くの動物たちが描かれているのが特徴です。遊行寺の涅槃図は、縦約 5.3 メートル、横約 3.9 メートルという圧倒的な大きさを誇る、明治時代に描かれた大変貴重なものです。よく見ると、嘆き悲しむ象や虎、鳥などの動物の中に、通常は描かれないとされる「猫」が描かれているなど、遊行寺ならではの特色についても紹介されました。



さらに、この涅槃図は現在の本堂では下部が一メートルほど床についてしまっていますが、これは関東大震災以前の本堂の天井が現在よりも高かったためだそうです。時代の変遷とともに建物の姿が変わったことを物語る興味深いお話も伺いました。

生徒たちは、普段は目にすることのできない荘厳な宝物を前に、その筆致や色彩、そしてそこに込められた話に、真剣な眼差しで耳を傾けていました。

「藤嶺学林」は、本校の隣に位置する遊行寺という特別な環境のもと、時宗に触れる本校ならではの教育活動です。今回、前回の写経を自らの手で納め、巨大な涅槃図を仰ぎ見た経験は、生徒一人ひとりの心に「藤嶺生としてのアイデンティティ」をより深く刻んだことと思います。

今後の主な行事予定(高校)

2/24(火)~2/27(金)	学年末試験
2/27(金)	特別清掃日
2/28(土)	卒業式予行（高校2年は登校 高1自宅学習日）
3/1(日)	高校卒業式（高校2年は参列 高1自宅学習）
3/2(月)	振替休日
3/6(金)	高校生徒大会（3～4限）・午前授業
3/7(土)	修了茶会（高校2年B組）
3/9(月)~3/11(水)	特別学習指導日
3/10(火)	特別講演会
3/11(水)	高校1・2年進級会議
3/12(木)	自宅学習日
3/13(金)	英語スピーチコンテスト
3/14(土)	修了茶会（高校2年C組）自宅学習日（2C以外）PTA総会
3/16(月)	進学講演会（中学3年～高校2年）
3/17(火)・18(水)	自宅学習日
3/19(火)	終業式（修了式）